

新刊案内

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

新刊コーナーにあるよ。



『青春サプリ。』

近江屋 一朗/文 ポプラ社 [Y375 セ]

時々、生徒が迷い猫のように入部してくる「ねころ部」。最初は支えられていたはずの子たちが、いつの間にか支える側になって…。部活をテーマにした、純度100%の青春ショート・ストーリーズ。



『てのひらに未来』

工藤 純子/著 くもん出版 [Y913 ク]

未来なんてあたりまえに来るって思ってたけど。今だから考えたい平和のこと。中学生の琴葉と町工場で働く少年・天馬。ふたりはそれぞれの家族の物語を知り…。若いふたりの成長を描いた物語。



『コピーボーイ』

ヴィンス・ヴォーター/著 原田 勝/訳 岩波書店 [Y933 ホ]

大学進学を控え、新聞社でコピーボーイ(雑用係)として働くヴィクターのもとに、大切な人の訃報が。故人との約束を果たすため、ヴィクターはひとりミシシッピ川の河口を目指し…。『ペーパーボーイ』の6年後の物語。

【実用書】

『青春サプリ。乗り越えられない試練なんてない』 オザワ部長/文 講談社 [Y375 セ]

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』 日本ペンクラブ/編 ポプラ社 [Y159 ナ]

【文芸書】

『永遠の夏をあとに』 雪乃 紗衣/著 東京創元社 [Y913 ユ]

『流星コーリング』 河邊 徹/著 KADOKAWA [Y913 カ]

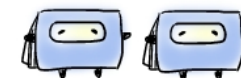
*大竹市立図書館のホームページの中にティーンズコーナーがあります。

勉強や悩みにも役立つリンク等もあるのでのぞいてみてね。



大竹市立図書館ティーンズ便り第17号

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338

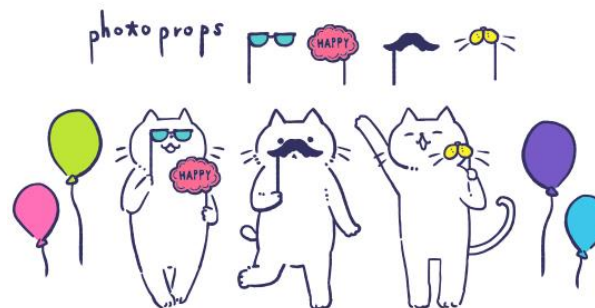


■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
- ・個人貸出 図書1人8冊 (内DVD・CD資料2点)
- ・貸出期間 2週間
- ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間
毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)

ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

スマートフォンをお持ちの方は
こちらのQRコードからもホーム
ページにアクセスできます。



大竹市立図書館には、ティーンズコーナーがあるのを知っていますか？
ティーンズコーナーでは、ティーンズ向けの本の展示をしています。春・夏・秋・冬の年4回、入替えているのでチェックしてみてください。

☆『夏』(6・7・8月の展示)

テーマは、

いろいろな受賞作品

賞を受賞した本ならきっと、おもしろいでしょ♪

日本児童文学者協会賞



『アドリア』 佐藤 まどか/著 あすなろ書房 [913サ]

フルートとの電撃的な出会いから5年。天性の才能を認められ、難関の国立音楽院に入学したユージだが、クラシック音楽界の厳しさを目の当たりにし…。イタリア、トスカーナの小さな町に暮らす少年の青春音楽小説。

野間児童文学賞



日本の賞を
あつめました。

外国の賞を
あつめました



『神隠しの教室』 山本 悦子/著 童心社 [913 ヤ]

学校には、秘密のとびらがある。その向こうには、もうひとつの学校がある。 「どこかへ行ってしまいたい」と思っていた、小学校5年生の加奈たちはある日、もうひとつの学校に迷いこんでしまい…。



『満月の娘たち』 安東 みきえ/著 講談社 [Y913 ア]

標準的見た目の中学生のあたしと、オカルトマニアで女子力の高い美月ちゃんは、保育園からの幼なじみ。ある日、美月ちゃんの頼みでクラスで人気の男子、日比野を誘い、3人で近所の幽霊屋敷へ肝試しに行くことに…。

梅棹忠夫・山と探検文学賞

日本児童文学者協会賞

『そして、ぼくは旅にでた。』 大竹 英洋/著
あすなろ書房 [914 オ]

ノースウッズへ。それが自分の人生を前に進めることのできる、ただひとつの行動だった。大自然に憧れ、写真家をめざすことになった1999年の旅を綴る。

『むこう岸』 安田 夏菜/著
講談社 [Y913 ヤ]

有名進学校の授業についていけず、公立中学に転校した少年と、父を亡くし、生活保護を受けて暮らす少女。2人が直面する、「貧しさゆえに機会を奪われる」ことの不条理…。中3の少年と少女は、いかに貧困に立ち向かうのか。

やっぱり直木賞!

やっぱり本屋大賞!

『容疑者Xの献身』
東野 圭吾/著 文藝春秋 [913 ヒ]

天才数学者でありながらさえない高校教師に甘んじる石神は、愛した女を守るため完全犯罪を目論む…。数学だけが生きがだった男の純愛ミステリー。

『かがみの孤城』 辻村 深月/著 ポプラ社
[Y913 ツ]

部屋に閉じこもっていたところの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。

他にもこんな賞があります♪

ガーディアン賞

『ウソつきとスパイ』
レベッカ・ステッド/著 小峰書店 [913 モ]

ジョージは引っこし先で、自称スパイの少年セイファーと出会う。ジョージはセイファーといっしょに、同じマンションにひそんでいる男“ミスターX”の動向をさぐることに…。

他にもこんな賞があります♪

* 『星に願いを、そして手を。』 小説すばる新人賞
青羽 悠/著 集英社 [Y913 ア]

* 『探偵は教室にいない』 鮎川哲也賞
川澄 浩平/著 東京創元社 [Y913 カ]

* 『さよなら神様』 本格ミステリ大賞
麻耶 雄嵩/著 文藝春秋 [Y913 マ]

* []は図書館の請求記号です。

ニューベリー賞



『その年、わたしは嘘をおぼえた』
ローレン・ウォーク/著 さ・え・ら書房 [Y933 ウ]

2つの世界大戦が暗い影を落とす1943年。わたしの前に黒い心を持つ少女が現れ、わたしを、わたしの大事な人々を傷つけた。わたしは闘うことにした。けれど、ことは、それだけですまなかった…。



『月の光を飲んだ少女』 ケリー・バーンヒル/著 評論社 [Y933 ハ]

毎年、赤ん坊をいけにえに捧げるその町は、悲しみに閉ざされていた。でも、赤ん坊は善良な魔女ザンに助けられ、離れた場所で幸せに暮らしている。ある年ザンは、助けた赤ん坊ルナに、うっかり月の光をのませてしまい…。

カーネギー賞

全米図書賞児童文学部門

『世界のはての少年』 ジェラルディン・マコックラン/著 東京創元社 [Y933 マ]

スコットランドのヒルタ島から、海鳥を獲りに無人島に渡った12人。だが約束の日が過ぎても迎えの船は来ない。厳しい自然の中、少年は仲間とともに生きのびるために闘う…。実際の事件をもとに描いた、勇気と成長の物語。

『僕には世界がふたつある』
ニール・シャスタマン/著 集英社 [Y933 シ]

妄想や幻覚にとらわれた15歳の少年は、誰かから殺されそうな気配におびえる一方、海賊船に乗る世界にも生きようになる。いつしか夢と現実が混ざり始め…。精神疾患の不安な航海をリアルに描く青春小説。

コスタ賞

『ぼくを忘れないで』
ネイサン・ファイラー/著 東京創元社 [Y933 フ]

ダウン症だった兄・サイモンの死は、幼かったマシューの思いつきもたらしたようなものだった。罪の意識に苛まれるマシュー。彼には「ぼくを忘れないで」というサイモンの声がいっつも聞こえていて…。

* 『希望の図書館』 スコット・オディール賞 リサ・クライン・ランサム/作 ポプラ社 [933 ク]

* 『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ』 ポストングローブ・ホーンブック賞
アンジー・トーマス/作 岩崎書店 [Y933 ト]